

## 私のすすめるこの1冊

小山 宏之 (体育学科 講師)

### 『言語技術』が日本のサッカーを変える』(光文社新書)

田嶋幸三 (著)

学生の皆さん、日常の中で“きもい”, “うざい”をはじめとする、どうしても解釈できそうな言葉を何気なく使っていませんか? また、使う子どもを見かけませんか?

今回紹介する本の中で、最も印象に残っている部分は、以下の文章です。

………… 子どもたちがことばに向き合う姿勢を変えていく上で、いちばん難しい課題とは何だと思いませんか?

それは、学校の先生に「言語教育」を理解してもらうこと。何十年にわたって同じやり方を教師という立場で継続している、やっていることの原因を考えなくなっていくのではないのでしょうか? 言語教育を徹底していくためには、学校の先生を変えていくことが必要でしょう。おそらく、そこにいちばん時間がかかると思います。…………

この本のテーマである「言語技術」は、筆者の言葉を借りれば「情報を取り出し、解釈し、自分の考えを組み立て、判断し、言葉にしていく力」となります。「日本のサッカーを変える」と銘打ったこの本は、日本サッカー協会の指導者育成、エリート養成において言語教育を行う新たな挑戦を記した本です。しかし、そこで行われている取り組みは、近い将来に教師として子どもたちの前に立つ皆さんに、そして将来に親として子どもを育てていく皆さんに、一つの考え方をプレゼントしてくれるかもしれません。

06年ドイツW杯準決勝、イタリア対ドイツ戦・・・「イタリアの選手が退場させられて選手が1人減ってしまったその時、イタリアの選手たちは、誰1人としてベンチを見なかった。」状況からして非常に不利な局面を迎えていた。にもかかわらず、選手たちはベンチに指示を仰がなかった。その場で話し合いをはじめ、10人でどのように試合を進めていくのかを即座に決め、お互いに指示を出し合い、発生した問題を解決していった。

他方、日本の練習風景。「今のパスはつながらなかったけど、どうしてそのつながらないパスを出したのかな?」プレーの根拠をコーチからの問いの中で確認していく練習で、黙ってコーチの目を見る子どもたち、フリーズする子どもたち、その表情は、コーチの言おうとしている答えを探し出そうとしているように見える。

場面はさらに変わり、学生から聞いた教育実習でのエピソード。実習生からの発問に意見の出ない場面・・・さあ、両手伸ばしてぐ〜っと背伸びしてみようか。次は、左手だけ下げて右側だけ伸びる・・・はい、全員手が挙がって素晴らしい、〇〇君!! さあ、意見を聞いてみよう・・・(これは実話で、先生も他の実習生も爆笑だったそうです・・・)。

このような場面にある選手や子どもたちの背景の違いは何だろうか? そこには、多くの議論の観点があると思います。しかし、今回に限っては、この本を通じて「言語技術」、すなわち論理的に考え言葉にしていくという観点から、日本の子どもたちに関する今を考えて欲しいと思います。

最後に、この本ではサッカーや指導者に関する言葉・名言が本の中にちりばめられています。読み手によってその言葉をどう捉えるかは変わってくるでしょう。しかし、どれも深みのある名言です。その言葉の背後にあるもの、行間に含まれるものを大いに想像して欲しいと思います。言葉には力があります。ある言葉は感動を呼び、時には悲しみを呼び、また一生の記憶に残るものであるかもしれません。将来、人前で話すことが多いであろう学生のみんなはその力をよく理解していると思います。最後に、私が最近読んだ小説で、言葉そしてスピーチの持つ力と素晴らしさを強く感じた一冊(『本日はお日柄もよく』、原田マハ、徳間文庫)も合わせて紹介し、今回のわたしのすすめるこの一冊を終わりにしたいと思います。

## 図書館からのお知らせ

### 夏期休暇に伴う長期貸出について

下記のとおり長期貸出を行っています。どうぞご利用ください。

対象者	院生・教職員	学部生
貸出冊数	12冊	7冊
貸出期間	7月8日(火)～9月4日(木)	7月22日(火)～9月18日(木)
返却期限日	平成26年10月3日(金) ※前期で卒業・修了予定の方は平成26年9月10日(水)となります。	

※ 視聴覚資料を除きます。

※ 長期貸出図書については、返却期限日の延長はできません。

一度返却してから、翌日以降貸出の手続きをとってください。

※一般利用者・卒業生は除きます。

### 雑誌の製本作業について

8月から10月初旬(予定)まで、南館1階の新着雑誌コーナーにある雑誌のうち、2013年発行分を中心に一部巻号が製本のため利用できなくなります。製本後は西館3階書庫に並べますので、そちらをご利用ください。

※製本対象リストを図書館ホームページ(下記)に掲載しております。

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/information/2014/binding/binding.html>

### 有効期限の延長について

2014年9月末で本学を修了する予定の科目等履修生・研究生・特別聴講生の方は、貸出可能な有効期限が9月10日(水)までとなっているため、返却期限日も9月10日(水)になっています。資料を借りている方は、忘れずに返却してください。

ただし、9月10日(水)以降も研究を継続する場合に限り、有効期限を9月30日(火)まで延長することが可能です。カウンターにて手続きを申し込んで下さい。

なお、図書館への入館・閲覧については、9月30日(火)まで可能です(手続き不要)

### えほんのもり

今月の読み聞かせ会は、  
9月22日(月) 15:00～ です。

『ぼくのだ！わたしのよ！』  
3びきの けんかすきの かえるの はなし

レオ・レオニ 作 谷川 俊太郎 訳

★おすすめポイント★

仲間といろいろな思いを共有するすばらしさを学ぶことができる1冊です。



今月の  
絵本カードは  
こちら！

※絵本カードは幼児教育科の学生が作成しています。  
このほかにも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ児童書コーナーに見に来てください。

### 開催中!

『ミニ企画展  
～国語の教科書に掲載された印象的なお話～』

6-7月にかけてリフレッシュ라운ジのホワイトボードで、皆さんに、国語の教科書に掲載された印象的なお話についてご意見をいただきました。

今回はそれらのお話のうち、元の資料が図書館に所蔵のある物を教科書と一緒に展示しています。是非、手にとって比べてみてください。

期間：2014年9月1日(月)～30日(火)

会場：附属図書館 北館1階 企画展示室

### 開催します!

お楽しみに!

第19回 教科書展  
中等教育用教科書(美術科編)

期間：2014年10月27日(月)～11月14日(金)  
9:00～17:00

会場：附属図書館 北館1階 企画展示室

図書館員のすすめる

# 旅に関する本・旅に出たくなる本

大学生のみなさんは8~9月が夏休みですね！長いお休み、ちょっとした旅行に行く人もいるのでは？今回は、旅に関する本、旅に出たくなる本、ということで図書館員から本をご紹介します。

## 『風景と出会い』

画家・絵本作家として知られる安野光雅氏の、旅の風景画集です。本をひらくと、左ページにのびやかなタッチの水彩画、右ページには場所の説明やスケッチをした時の様子などが10行ほど書かれており、見開きでひとつの景色をゆったりと堪能できます。実際には行けないけど旅行気分を味わいたい、というときにもおすすめです。



## 『世界の市場』

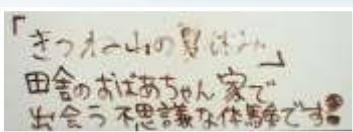
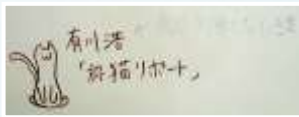
目に楽しく、食べておいしい。土地の人々の生活を垣間見られる場所でもある、市場。カラフルな写真と、市場ごとのエピソードが綴られています。

お土産度、自炊度、屋台度など、独自の目線での評価ポイントもおもしろいですよ。

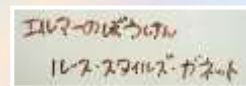
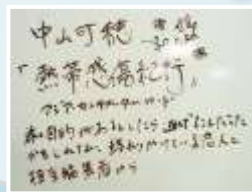
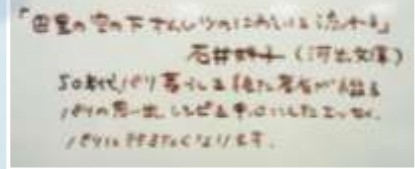


## 『ワヤン：ジャワの影絵芝居』

インドネシアの影絵芝居「ワヤン」のストーリーや登場人物、その背景となる神話や習俗などについて書かれ、ワヤンに使われる美しい人形の写真が随所にちりばめられた、入門書としても適した本である。ワヤンに関する数々の図書を書いている著者の松本亮氏は詩人でもあり、その明快でありながら美しく叙情的な文章が、人々の気配や土地の匂いまでも感じさせるようで、ただ専門書を読むだけではない旅愁をかきたてるのだ。伝統的なワヤンは夜を徹して上演される。たいまつの灯りに照らし出された影絵の世界を想像するたび、いつか行ってみたいと思わせる1冊である。



リフレッシュ라운ジのホワイトボードでも募集していました。書いてくださった方、ありがとうございました！ ※一部掲載させていただきました。



## 教育資料館 まなびの森ミュージアム

本学の教育資料館 まなびの森ミュージアムは「京都・大学ミュージアム連携」に所属しています。2014年4月~2015年3月31日(火)の期間、連携14大学所属学生・院生は、京都大学総合博物館、京都工芸繊維大学美術工芸資料館の入場料が無料となります。(学生証の提示が必要です。) どんどん活用してくださいね！



今回の執筆者 **井上 文夫** (体育学科 教授)

「小学校教員の過去の部活動経験とストレス対処能力との関連」

井上文夫・山内雄貴・山本祥子・森孝宏・浅井千恵子  
 京都教育大学紀要. 2014, No.124, pp.101-110

ストレスとどのように向き合うのか、というのは多くの人々にとって大きな課題です。とりわけ教員においては、自分自身のストレスにどのように対処するのかだけでなく、子どもたちにどのようにストレスと向き合うかを指導する立場にあることも課題となります。生きていく上でストレスは避けられないものであり、ストレスによって人は精神的に病むこともあれば、ストレスにより成長し、たくましくなることもあります。この論文では、ストレス対処能力の獲得に際し、学校での部活動に参加することが将来の教員生活の場でのストレス対処行動に効果的な影響を与えているのではないかと考え、京都府下の小学校教員を対象に、過去の部活動経験と現在のストレス状況とコーピング行動について調査しました。調査の結果、現在のストレス状況は部活動経験の有無により差は見られませんでした。運動部や文化部の活動に参加していたものでは、様々なコーピング行動を多く行っており、とくに主将、副主将などのリーダー的な役割を果たしたものは、現在の教員生活の中でも問題解決型の積極的行動による対処を行っているものが多く、部活動経験がストレス対処能力獲得に効果的であることが示唆される結果となりました。学校での部活動指導が、教員の大きな負担となっている一方で、子どもたちの将来のストレス対処能力育成の一助となっていることを考えると、今後の部活動指導をどのような体制で行っていくのかをわが国全体の教育問題として考える課題であると思われまます。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 124 号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/> にも公開されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2014年9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

9/3 館内整理日

9/13 大学院入試(学外者の来館不可)

2014年10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

10/1 後期授業開始

●京都教育大学附属図書館ホームページ  
<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版図書館ホームページ  
<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm>

QRコード →



京教図書館 News No.168 (2014年9月号)  
 発行日:平成26年9月1日  
 編集発行:京都教育大学附属図書館  
 問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp